

E-MAIL
ota-kazuaki-r@pr
ef.nagano.lg.jp

校長通信

発行 校長 大田 一昭
〒384-0023
小諸市東雲 4-1-1
TEL 0267-22-0216

お願い

この新聞は保護者の皆様にお渡しください

教室掲示用

音楽科ウィーン研修特集

本年度より学校のHPに校長通信掲載しました。

ウィーンへ行ってきました ～12/12-12/18 7日間～



【団長 2-1 石倉君の話】
「とても素晴らしい都市でした。音楽の都ウィーン研修に参加できてとてもよかったです。また、機会があればウィーンに行きたいです。」

学友協会の前で記念写真

長野県に音楽科が唯一設置されている小諸高校に対して、長野県はウィーン海外研修に派遣をしてくれました。内容いっぱいの企画で参加者はまたとない機会をいただき感動の一週間でした。

「ウィーンは全く違う世界でした。日本でのレッスンは、楽譜の音符を忠実に音にする。一方、ウィーンの指導は『あなたはこの曲で何をうったえたいのか』を強く問われました。」

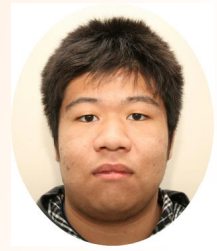
(生徒感想より)

ウィーン研修旅行に参加した生徒諸君が口をそろえて言った言葉は「指導方法がすごい」という言葉でした。真実(ほんと)の音楽に触れれば自然に鳴りだす琴線を、だれもが胸の奥に持っていると思いますが、生徒にとってこれ以上の体験は今までなかったことでした。

小諸高等学校音楽科は、平成7年長野県で初の音楽専門学科として設立されました。以来、



輝いている仲間



岩手国民体育大会 レスリング 96KG 級 第五位 永島 佑真君

「10月の岩手国体で僕は5位に入賞することができました。この大会は、僕にとって特別なものでした。三年間の最後の大会と同時に、僕をレスリングに誘ってくれた森角先生に恩返しできる最後の機会だったからです。その思いをすべて試合にぶつけました。決勝は、5対4で逆転勝ちでした。賞状を手にしたとき、今まで続けてきてよかった、森角先生本当にありがとうございましたという思いでいっぱいでした。最後になりますが、両親をはじめ一緒に苦しみを乗り越えてきた仲間感謝したいです。」



音楽学校ウィーン市立ムジーク・ギムナジウム校 長先生と小諸高校校長 握手

21年間の歩みの中で着実に力をつけ東京芸術大学には22名が進学し、毎年9割の生徒が音楽系大学、短期大学に進学を果たしています。卒業生は世界で活躍するプロの演奏家や、音楽の教師になり音楽教育に携わっているものがたくさんあります。

ビッグなニュースが舞い込んでまいりました。「ウィーン研修旅行」です。長野県が進めているオーストリアとの連携活動の一つの柱として、高校生の交流が決まったのでした。大変ありがたいお話で、学校関係者熱い思いを持って準備にあたってまいりました。

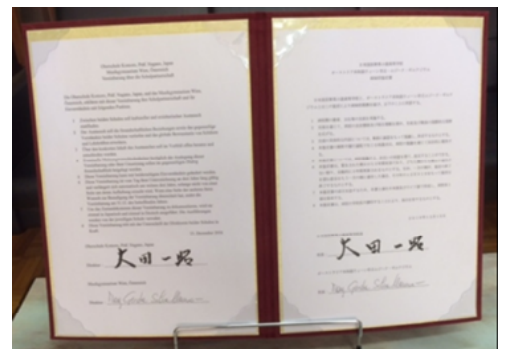


今回のウィーン海外研修の目的は三つあります。

まず、一つは音楽の本場ウィーンで直に世界最高峰の音楽に接することです。オペラ座での「マクベス」鑑賞、二回にわたって学友協会(前年長野県と連携調印)で生のウィーンフィルオーケストラを鑑賞いたしました。

二つ目は、ウィーンで活躍する指導者からの個人レッスンです。オーケストラ団員、大学の先生、一流の先生からの個人レッスンは生徒のこれからの音楽人生をも変えるものとなりました。

そして、最後三番目がウィーンの音楽学校ウィーン市立ムジーク・ギムナジウムとの交流と姉妹校協定書の調印を行うことでした。この調印により隔年で本校のウィーン研修旅行を行うこととなりました。また、ウィーンの高校生が長野県に招待をウィーン市立ムジーク・ギムナジウムとの姉妹校協定書してまいりました。



願わくば、小諸高校ウィーン研修旅行とムジーク・ギムナジウム 長野県招待を交互に実施して友好的な交流ができますことを願ってやみません。